

## 設置マニュアル

Installation manual

### フリースタンディング ワインキャビネット WTes1672 Vinidor

- 人への危害、財産の損害を防止するため、本書に記載されている事項を必ずお守りください。
- 設置、及び施工において、本書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガの恐れがあります。  
据付設置は必ずお買い求めの販売店までご依頼ください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

- 本手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 設置及び施工において、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

誤った使い方をしたときに生じる内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。



警告



注意

「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



- 交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で専用に設けてください。
- 電源プラグ周辺のほこりなどは定期的に取り除いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに電源プラグを持って抜いてください。
- 長期間使用しないときやお手入れの際は、必ず電源コードを抜いてください。
- 異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。



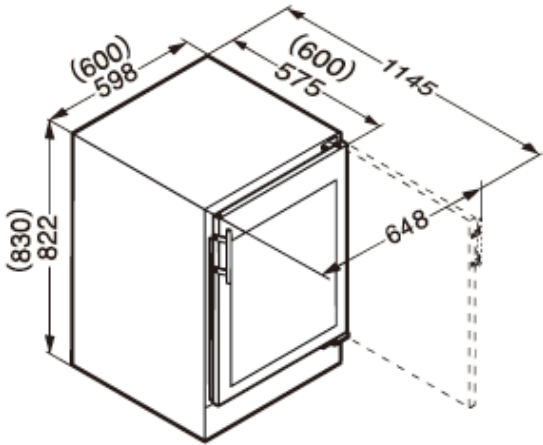
- 濡れた手で、電源プラグに触らないでください。
- 電源プラグを、機器の本体背面で押し付けないでください。
- 電源プラグやコードを破損するようなことはしないでください。
- 本体や電源コードに水をかけないでください。
- 機器の周囲は、必ず必要な放熱スペースを守ってください。
- 機器の上には、絶対にものを置かないでください。
- 延長コードを使用するの設置はお控えください。
- 本製品は一般家庭専用です。業務用、或いは屋外や戸外でのご使用はお控えください。



アース（接地）・漏電遮断機を必ず取り付けてください。

# 設置スペースと電源設備

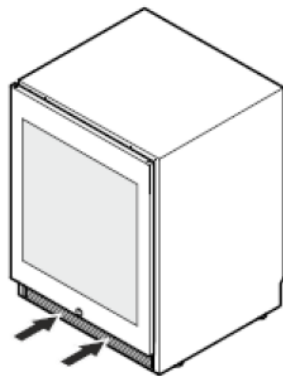
## 【機器寸法及び設置について】



- ( ) カッコ内の値は放熱スペースを含んだ、設置時における最小必要寸法です。
- アンダーカウンター設置時の最小必要設置寸法 (W : 600mm H : 830mm) で使用する場合、機器側面/上部やキャビネット等を保護する為に、青い保護フィルムを付けた状態のまま設置することをお勧めします。
- 機器設置床面と機器前床面は、必ず水平・同レベルに仕上げてください。
- 床に直接機器を設置してください。

### <重要>

機器の給排気口、及びグリルが常時、塞がれた状態での設置は不具合発生の原因となりますので、お控えください。

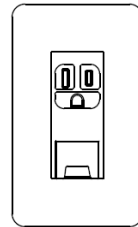


## ⚠ 注意

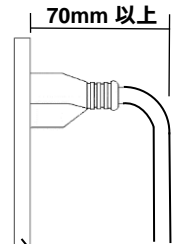
- 本機器の周辺適用外気温 (室温)  
・10℃ ~ 38℃
- 機器は、暖房・温熱器具等からの熱気や直射日光の当たらない場所、湿気が少なく風通しの良い場所に設置してください。
- 通気が悪く湿気の高い設置環境では、機器の表面に結露が発生することがあります。
- 電源コンセントは、機器の仕様、定格電流にあったものをご用意ください。
- 下記仕様を参照の上、昇圧トランスの設置スペースをご用意ください。
- アース (接地) ・漏電遮断機を必ず取り付けてください。

## <一次側電源コンセント>

1. 定格 15A以上、単相100Vの専用回路を設けてください。
2. アースターミナル付接地コンセントを設けてください。
3. 一次側コンセントは必ず接地コンセント(3P)をご用意ください。

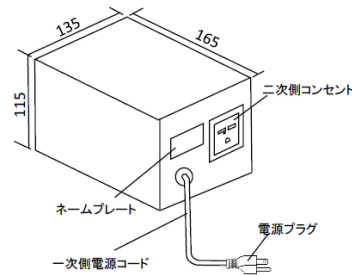


パナソニック電工  
品番 : WN1131 (相当品)



コンセントプレート

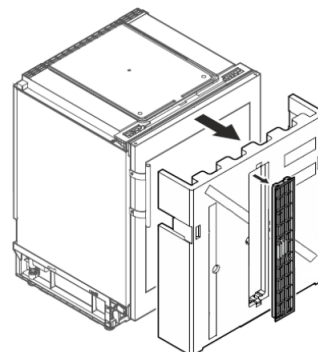
## <昇圧トランス>



### 【100V → 220-240V 昇圧トランス仕様】

- ・外形寸法 (W x D x H) : 135 x 165 x 115 mm
- ・コード長さ : 1.7m
- ・定格容量 : 600VA
- ・入力 : 単相 100V・50/60Hz
- ・出力 : 単相 230V
- ・質量 : 6.3kg

## ⚠ 注意



### <重要>

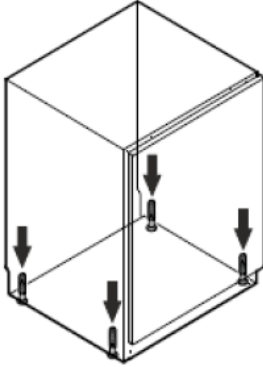
換気グリルは本体包装 (発泡スチロール) の中に組み込まれています。

発泡スチロールを廃棄する前に必ず換気グリルを取り外してください。

# 本体の設置

## 【機器のレベル調整】

- 最終的な設置位置に機器をセットします。
- 機器の調整脚を使って高さを調節します。



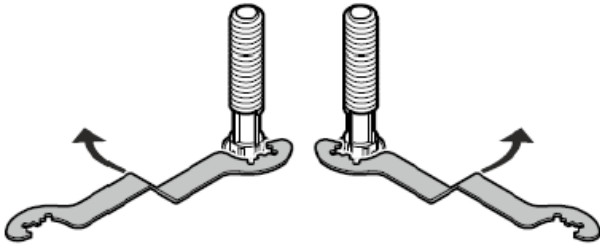
### <重要>

機器は水平方向と垂直方向、共に傾きが無いように設置しなければなりません。

機器が水平でない場合は、ドアが正しく閉じません。

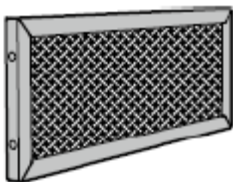
## 【高さ調節方法】

- 付属のスパナを使い、時計回りに回すと機器が高くなり、反時計回りに回すと低くなります。
- 向きに応じてスパナの向きをセットして下さい。



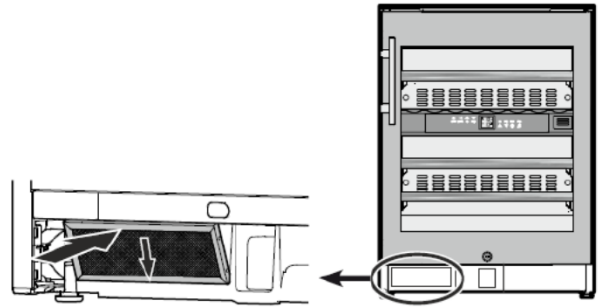
## 【ダストフィルターの取り付け】

- ホコリ等のゴミが機器下側から奥のコンプレッサー等へ侵入すると、冷却運転に影響します。付属のダストフィルターは、吸気部分からのホコリ等の侵入を軽減します。
- 常にダストフィルターを取付けた状態でご使用下さい



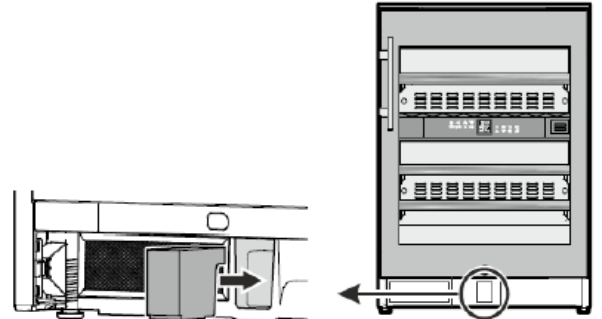
## 【ダストフィルターの取り付け方法】

- 保護フィルムを剥がします。
- 下側を差込み、上側を押し取付けます。



## 【給排気 仕切り部材の取り付け】

- 冷却ユニット（コンプレッサー、コンデンサー等）は機器の下部に位置しています。
- 機器下部での適切な空気循環（排気）を行うために、図のように付属の仕切りパーツを取付けます。

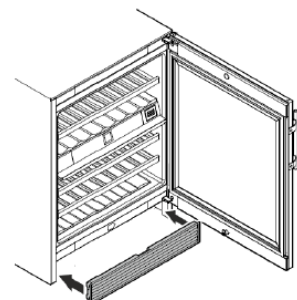


### <重要>

この付属パーツが取り付けられていない場合、十分な冷却運転を行うことが出来ませんので、必ず取り付けられた状態でご使用下さい。

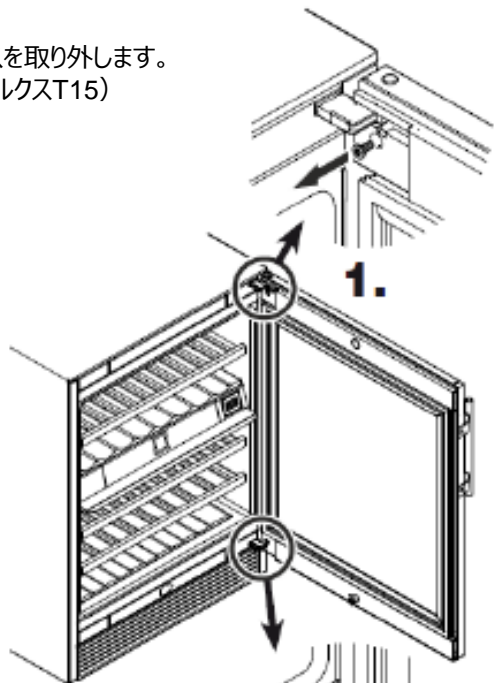
## 【換気グリルの取り付け】

- 付属の換気グリルを機器前面部の下側で所定の位置に合わせ、押ししてセットします。

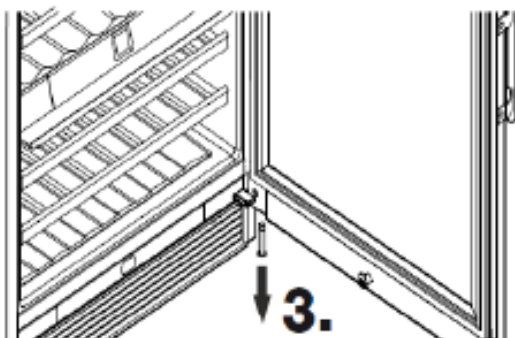
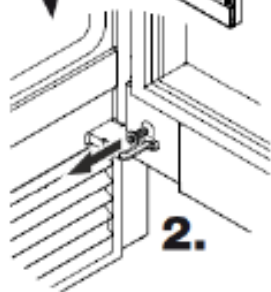


# ドアヒンジの交換

1.  
ビスを取り外します。  
(トルクスT15)



2.  
ビスを取り外します。  
(トルクスT15)

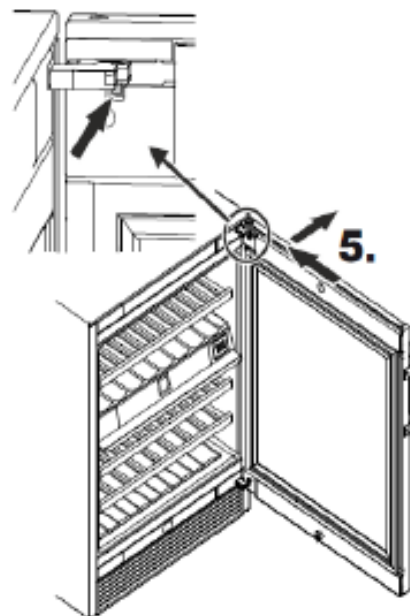
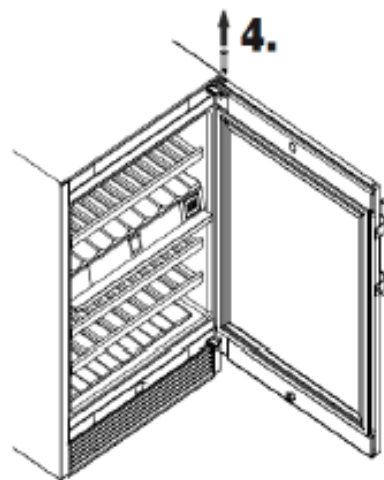


3.  
下部のヒンジピンを引き抜きます。  
※  
ドアの上端と下端のヒンジピンの間に薄いヘラ等を差込み、予めピンを浮かせてから抜き取り下さい。

## <重要>

- ヒンジピンを引き抜く際、養生等を行いピン周囲を保護し、機器にキズをつけないよう十分ご注意下さい。
- この状態の時、ドアが落下しないように必ず支えて下さい。

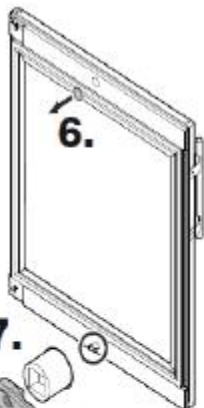
4.  
上部のヒンジピンを抜き取ります。  
※ (3.の項目を参照)



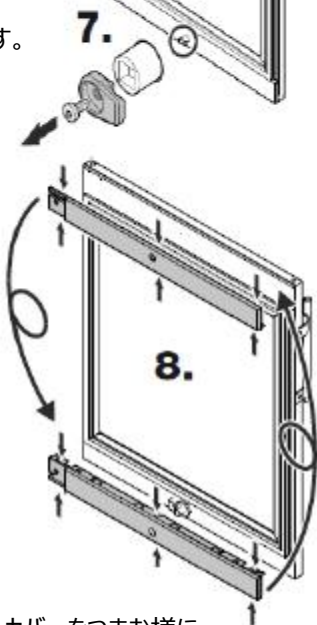
5.  
ヒンジブラケット内のピンが見えるまで、ドアを前に押し、ドアを取外します。(図を参照下さい)  
※  
ドアはかなりの重量がありますので、取扱いにご注意下さい。

# ドアヒンジの交換

6.  
上部中央の円いカバーを外します。  
(8. の作業時に行うと容易です)



7.  
ドアラッチを外します。  
(トルクスT15)



8.  
図の矢印の向きで、カバーをつまむ様に  
押しながら取り外します。  
取外し後、カバーを180度回転させ、  
上下を反対にして取り付けます。

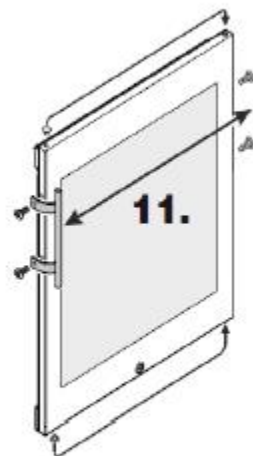


9.  
中央のカバーを取付けます。

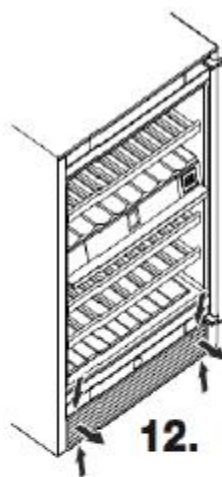
10.  
ドアラッチを取付けます。



11.  
ドアハンドルとプラグを反対側に付け替えます。  
(六角レンチ2.5mm)



12.  
図の矢印部分、上部/下部で換気グリルをつかみ、  
手前に引きます。

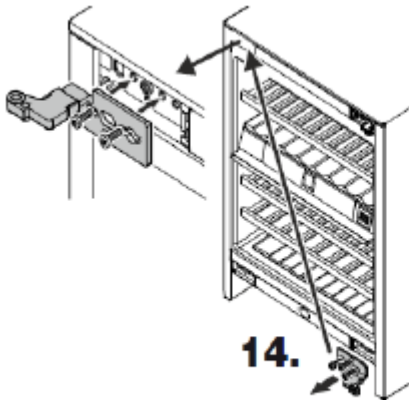


13.  
カバーを外します。

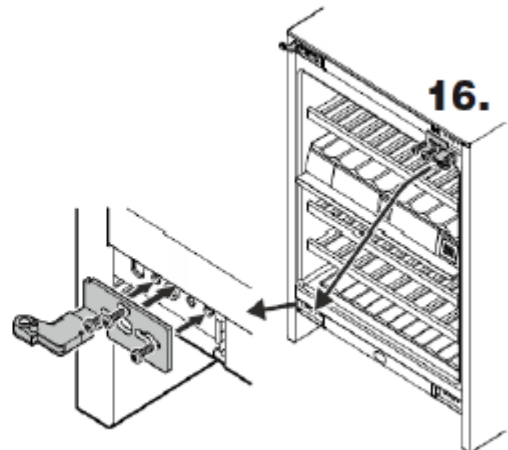


# ドアヒンジの交換

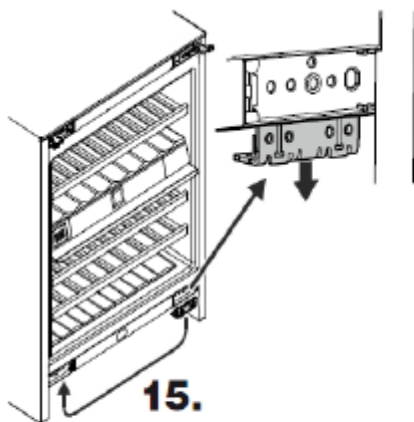
14.  
ヒンジブラケットを外し、左上側に取り付けます。  
矢印の箇所ではネジを締めます。  
(トルクスT25)



16.  
右上ヒンジブラケットを外し、左下側に取り付けます。  
矢印の箇所ではネジを締めます。

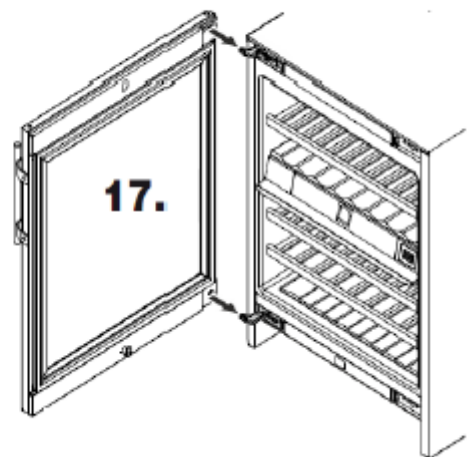


15.  
下側のリテイニングブラケットを外し、  
反対側へ移します。



17.  
ドアをヒンジブラケットに合わせます。

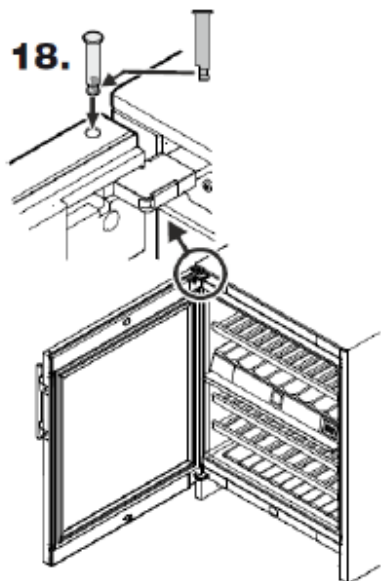
**【重要】**  
この状態の時、ドアが落下しないように必ず支えて下さい。



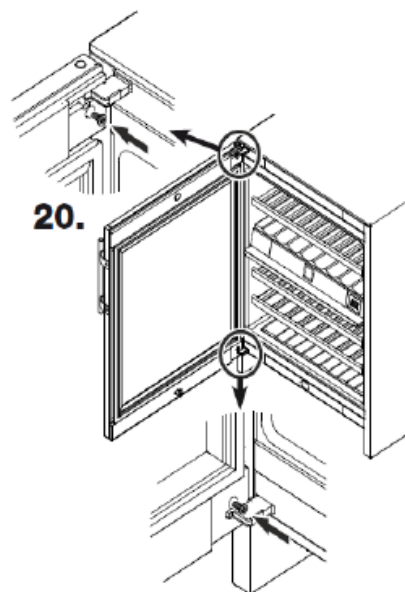
# ドアヒンジの交換

18.  
ヒンジピンを差し込みます。

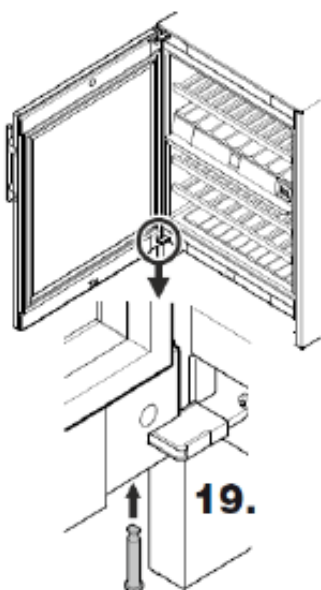
- ※
- ① ドアは必ず90度開けて下さい。
  - ② ヒンジピン先端の平らな部分を機器の方向に向け、垂直にヒンジピンを挿入します。
  - ③ ヒンジピンをある程度の部分まで入れ、ピンの先端をアジャスト出来る（奥まで入る）ポイントに合わせ、上部が飛び出ないように最後まで押込んで下さい。



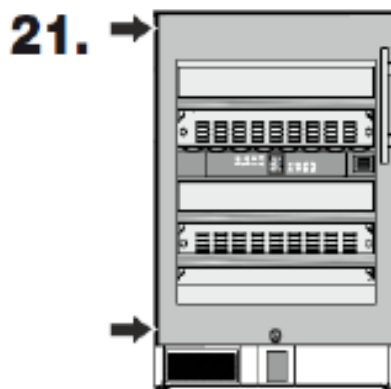
20.  
上部と下部のネジを締めます。



19.  
同様に下部のヒンジピンを差し込みます。  
※2（18.の項目を参照）



21.  
ドアを閉め、機器側面のラインと揃っているか  
チェックします。



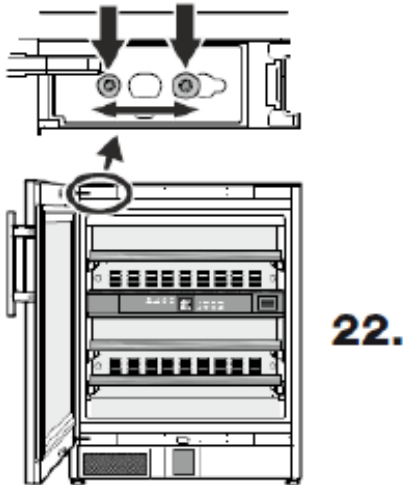


# ドアヒンジの交換

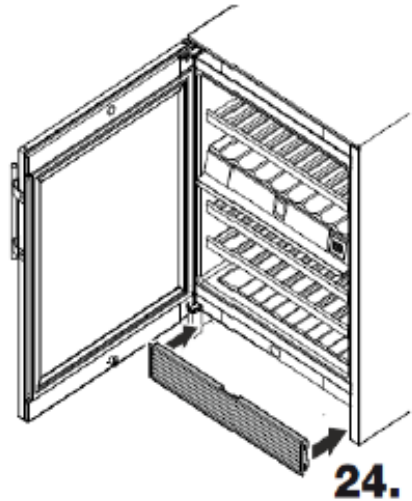
## 【ドアの横の傾斜を調整する】

ドアが傾いている場合、角度を調整します。

22.  
ネジを緩め、右または左にヒンジブラケットを  
スライドさせます。  
調整後ネジを締めます。

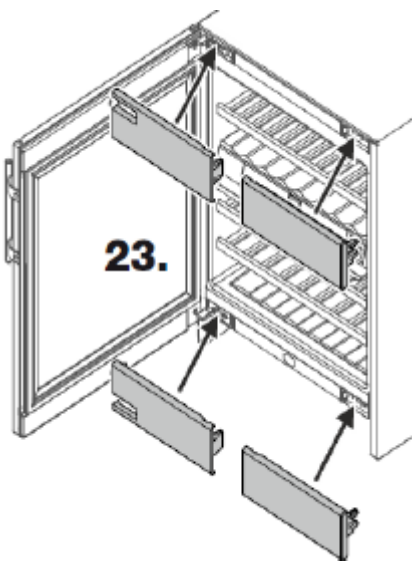


24.  
換気グリルを所定の位置に合わせ  
押し取付けます。



以上で、ドアヒンジ交換作業は終了です

23.  
カバーを取付けます。



- ドイツLIEBHERR社は品質・性能向上のため絶えず改良を重ねております。
- 機器の仕様は予告なしに仕様が変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

150721

## インタックSPS株式会社

〒104-0061  
東京都中央区銀座7-13-5 NREG銀座ビル6F  
TEL : 03-6264-2970 FAX : 03-6264-2973  
E-mail : info@intac-sps.co.jp  
HP : www.intac-sps.co.jp

<お問合せ フリーダイヤル>



**0120-915-546**

【受付時間】

9 : 30 ~ 17 : 30 (土日・祝日・夏期・年末年始の休業期間を除く)